

共立高等看護学院第37期生戴帽式

2015年11月14日

式次第

- 一、開式の辞
- 一、学院長挨拶
- 一、学生戴帽
- 一、来賓祝辞
- 一、花束贈呈
- 一、記念品贈呈
- 一、祝電披露
- 一、キャンドル点火と誓いの言葉
- 一、上級生お祝いの言葉
- 一、「支えあって支えられて」斉唱
- 一、閉式の辞

誓いの言葉



私たち37期生は、様々な思いを胸に共立看護学院に入学してきました。
無力な自分が嫌で看護師になり、人の役に立ち苦しんでいる人を助けたいという思い。
親の影響や親族の入院がきっかけで看護師になりたいという思い。
出産を経験して命の誕生に感動し、その瞬間に立ち会えることが素敵だという思い。
今まで歩んできた道も年齢も異なるなか42名それぞれの思いを胸に、私達は今、向日葵という学級目標のもと看護師という太陽に向かって日々、精進しています。

入学してから90分という長い授業に加え、今までとは異なった学習内容に慣れない私たちは授業についていけないのか、友達と仲良くしていいのかという不安に襲われる日々が続きました。実習では初めて書くレポートの多さや、患者さんのコミュニケーションと個別性の援助を考えることの難しさを実感しました。しかし、患者さんの目線から物事を考えることができるようになり、思った通りにいかないからこそ振り返りが大切だということを知り多くの学びを得ることができました。また、よくも悪くも物事ははっきりと言ってくれる友達は、時に意見が衝突することがあるけれど互いにいい関係が築けていると思います。そして、私達がここまでやってこられているのは周りの支えがあるからです。

これまで私たちを支えてくれた家族。
毎日、早くからお弁当を作ってくれてありがとう。日々の不安からたわいもないことまで色々な話を聞いてくれてありがとう。普段、恥ずかしくて言えないけど感謝しています。そんな家族の支えがあるからこそ、この道を進むことができています。この感謝を胸にどんな困難があっても自分が満足できる結果が得られるように努力していきます。これからも変わらず温かく見守ってください。

大好きな友達。
いつも一緒にふざけ合ったり、笑いあったりできるから毎日学校に来るのが楽しみになりました。実習中は、相談やアドバイスが心の支えになったから乗り越えられました。どんなときも一緒にいるだけで安心できる存在。37期で本当に良かった。これからもよろしく。この先も辛いこと悲しいこと嬉しいこと、色々あると思うけど一緒に乗り越えていきたい。

先生方
勉強面では、分からないことをわかるまで教えてくれてありがとうございます。生活面では、どんなときも自分のことのように親身になって話を聞いてくれ、また、一緒に考えてくれる先生方に助けられています。そんな、先生方は母のような存在です。これから、実習や勉強でつまずくことがあると思いますが、先生方の力を借りながら看護について深い学びが得られるように、精一杯頑張ります。

私達37期生は、
患者の立場に寄り添える看護師
「あなたでよかった」と言ってもらえるような看護師
温かみのある看護師 笑顔が素敵で看護師 それぞれの目指す看護師像に向けて看護の道を歩んでいきます。
今日、ナースキャップをいただき、新たな決意と強い意思を胸に日々励んでいくことを誓います。